

概要 設立 昭和45年9月1日 資本金 5千万円 全役職員数0名 (うち技術系 0名)
【代表者】代表取締役社長 中村 正人
【役員】(専務)大西 博文 (常務)眞行寺 暢彦 (取)坂本 香 (取)君島 正美(社外)
【登録】建設コンサルタント 建第21-905号(都市計画及び地方計画他下記の8部門)
 道路/土質及び基礎/建設環境/地質/鋼構造及びコンクリート/トンネル/施工計画・施工設備及び積算
 測量業者 第(09)-8312号/地質調査業者 質24第2599

【所属団体】

【本社以外の事業所】

東北支店、名古屋支店、大阪支店、中国支店、福岡支店

特徴・特色・業務内容

当社は道路を専門とする技術者集団として「道づくり」技術を発揮してまいりました。
 加えて、道路の歴史を「道まもり」の技術で蓄積してまいりました。
 今、これらデータベースをもとに次の時代へ新たな「道づかい」の技術を提案いたします。

調査・計画・測量・設計・評価を通して、人と車と地域の調和を図る「環境にやさしい道路」、物流を担う「たよりがいのある道路」、万が一の際にも走行可能な災害に強い「たくましい道路」など、私たちは、求められるニーズに応じ、安全かつ快適で使いやすい、そして環境にも配慮した「道づくり」を提案します。

道路を有効かつ効率的に活用する「5つのJ」(事故、渋滞、情報化、重量化、地震)に取り組みます。将来にわたり機能を十分果たすことができるよう道路のLCC(ライフサイクルコスト)を考慮した長寿命化を図り、ITの進歩、高齢化社会の進展など社会情勢の変化に合わせた、「道まもり」を提案します。

「道づかい」はシステムづくり、マネジメント技術であり、成果を確認する技術です。国際社会、観光立国、高齢化社会などの需要に対して、培ってきた豊富な経験と確かな技術力を駆使し、道路空間の使い方、他交通機関との連携の図り方等の「道づかい」を提案します。

都市・地方計画部門の概要

【過去5年間の年平均受件数・金額】 7件 -百万円

【主な業務内容】

- | | | |
|-------------|----------------|---------|
| (1) 土地利用計画等 | (2) 無し | (3) 無し |
| (4) 交通計画・設計 | (5) 公園緑地計画・設計等 | (6) 無し |
| (7) 無し | (8) 無し | (9) その他 |

【技術者数】 15名

【品質管理に係わる特記事項】

【有資格者数】 技術士 10名 一級建築士 0名 RCCM 5名 土地区画整理士 1名 再開発プランナー 0名
 RLA 0名 博士 0名

【管理技術者】 松本 猛秀 技術士 年

その他部門の概要

【都市・地方計画部門以外の主な併設業務】

道路、土質及び基礎、トンネル、建設環境、造園、地質、鋼構造及びコンクリート、施工計画・施工設備・積算

【道路部門責任者名】 眞行寺 暢彦 技術士 年

【鋼構造及びコンクリート部門責任者名】 塚本 亮二 技術士 年

【施工計画・施工設備・積算部門責任者名】 山梨 昇 技術士 年

【土質及び基礎部門責任者名】 熊谷 明芳 技術士 年

【建設環境部門責任者名】 加藤 人士 技術士 年

【地質部門責任者名】 渡邊 真司 技術士 年

都市・地方計画部門の主な技術者

松本 猛秀	
技術士(都市および地方計画、道路)	
茂手木 功	
RCCM(都市及び地方計画)	
木村 吉晴	
技術士(都市および地方計画) 土地区画整理士	
伊藤 亜生	
技術士(総合監理、道路) RCCM(建設情報)	
中津原 勢司	
技術士(道路)	

都市・地方計画部門の主要業務紹介

	分類	年度
神奈川県 H21 管内自転車道等整備業務 本業務は、歩道利用状況調査を基に、自転車道等の整備に向けた詳細設計を実施した。自転車走行速度、利用動線等を調査し、自転車道整備予定区域において、歩行者、自転車数を調査すると共に、危険事象、自転車走行速度、利用動線等を調査し、自転車道等の必要性を検証した。また、自転車道の整備タイプを歩道・車道幅員から設定し、整備対象区域に当てはめ基本方針とした。車道空間を再配分する自転車レーン詳細設計では、路上施設、歩道切下げ部を考慮した、歩道からの出入位置を設定すると共に、安全かつ円滑に出入できる横断勾配構造を検討した。また、歩行者、自転車のシンボルマークを検討し、路面標示、標識に反映すると共にフォトモンタージュを作成し景観的な検証を実施した。	4	平21
奈良県 奈良中心市街地交通処理対策検討業務 世界遺産地域である奈良中心市街地を対象に、計画中の京奈和自動車道大和北道路供用後に懸念される新たな観光交通等による交通問題に対応するために、 1. 奈良交通社会実験中の駐車場利用者アンケート調査（20駐車場） 2. 国道24号等主要幹線道路の渋滞に対する抜け道の実態ヒアリング調査（2事業所）等の交通実態調査 3. 世界遺産地域等（岐阜県白川郷、奈良県吉野山、大分県湯布院、ストラスブール、フライブルグなど）の交通処理施策事例を基にした奈良中心市街地への施策の適用性の検討 4. H17センサス起終点調査を用いた休日交通需要の分析などを行い、ソフト的渋滞対策を中心に中心市街地の交通処理計画を検討した。	4	平20
東京都 23F日野バイパス延伸技術資料作成 本業務は国道20号日野バイパス延伸（未事業化区間）における事業評価（計画段階評価）、都市計画変更資料作成、事業化区間を含めた沿道環境影響予測（大気、騒音、振動）、評価、環境保全対策等の検討を行った。 また、日野バイパス起点部での渋滞対策として交通誘導検討を行い、交通誘導手法の検討、誘導効果の検討、概略設計を行った。検討には、交通流マイクロシミュレーション、CGシミュレーションを用いた被験者試験を実施し反映した。 事業評価資料作成として、東京都内直轄国道のCS調査を実施した他、交通量推計を踏まえた管内3事業の事業再評価資料作成を行った。	4	平23

業務経歴全般

発注者	業務名	分類	年度
国土交通省関東地方建設局総武国道事務所	23F日野バイパス延伸技術資料作成	4	平23
国土交通省関東地方建設局総武国道事務所	23M管内事故等調査業務	4	平23
愛知県 知立建設事務所	連続立体交差工事の内事業再評価資料作成業務委託	4	平23
三重県 鈴鹿市	（仮称）鈴鹿PAスマートIC実施設計計画書策定業務委託	4	平23
国土交通省関東地方整備局	H22道路交通センサスOD調査（その2）業務	4	平22
宇都宮国道事務所			
国土交通省関東地方建設局大宮国道事務所	大宮国道管内安全施設整備検討他業務委託	4	平21
国土交通省関東地方建設局横浜国道事務所	H21管内自転車道等整備業務	4	平21
愛知県 知立建設事務所	連続立体交差工事の内費用対効果検討業務委託	4	平21
東京都 第二建設事務所	放射第23号道路概略補足設計	4	平21
国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所	奈良中心市街地交通処理対策検討業務	4	平20
国土交通省近畿地方整備局	阪神都市圏交通量調査業務	4	平20
近畿幹線道路調査事務所			
国土交通省関東地方建設局横浜国道事務所	H20管内自転車道検討業務	4	平20
滋賀県土木交通部	平成20年第902号事故危険箇所等調査検討評価業務委託	4	平20
国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所	平成19年度 奈良中心市街地交通処理対策検討業務	4	平19
国土交通省中部地方建設局	名古屋国道管内交通事故対策業務	4	平18
名古屋国道事務所			
国土交通省中部地方建設局	三重中南勢地域物流交流検討業務	4	平18
三重河川国道事務所			
国土交通省中部地方建設局	三重道路網検討	4	平18
三重河川国道事務所			
国土交通省近畿地方整備局	平成18年度道路整備・物流等に関する海外情報収集整理業務	4	平18
近畿幹線道路調査事務所			
山形県土木部	道路整備のあり方に関する検討調査業務	4	平18
東京都建設局道路建設部	平均旅行速度調査委託	4	平18
国土交通省関東地方整備局東京国道事務所	平成17年度管内駐車調査その1業務	4	平17
国土交通省中部地方建設局	名古屋国道管内交通事故調査業務委託	4	平17
名古屋国道事務所			
掛川市総務部 企画人材課	満水新駅周辺土地利用計画策定支援業務	1	平16